

教育学部 学校教育教員養成課程 芸術専修

図画工作分野・美術分野に

ようこそ！

作成日 2024年7月24日（水）

芸術専修 図画工作分野・美術分野

芸術専修
図画工作分野・美術分野
専門科目

芸術専修 図画工作分野・美術分野の専門科目は、

「絵画」「彫刻」「デザイン」「工芸」「美術理論・美術史」「美術科教育」の、6つの領域から構成されています。

まず1・2年次には、これらの領域をバランスよく学ぶことで、図工美術の楽しさを体験するとともに図工美術教育について考えます。

卒業研究

次に3年次になると研究テーマを定めるため、興味を抱いた領域をさらに深く探求し、4年次にはそれぞれがテーマを掲げて卒業研究（作品制作または論文執筆）に取り組みます。

このような4年間を経て学生たちは図画工作や美術を通じて社会に貢献できる人材へと成長していきます。

図画工作分野・美術分野の専門科目

領域 学年	絵画	彫刻	デザイン	工芸	美術理論・美術史	卒業研究
1年	絵画基礎 実技Ⅰ	彫刻基礎 実技Ⅰ	デザイン基礎実技Ⅰ	工芸基礎 実技Ⅰ	美術史概論	
2年	絵画基礎 実技Ⅱ	彫刻基礎 実技Ⅱ	デザイン基礎実技Ⅱ	工芸基礎 実技Ⅱ	美術理論A、B 造形芸術学概論	
3年	絵画研究A	彫刻研究A	デザイン研究A	工芸研究A	日本美術史	
4年	絵画研究B	彫刻研究B	デザイン研究B	工芸研究B		卒業研究

- 美術分野の場合は（24+8）32単位を、
- 図画工作分野の場合は、（12+2）14単位を履修する。
- この他「ミュージアム・コラボレーション」などの様々な授業が履修できる。

4単位

※「工芸基礎実技Ⅱ」「工芸研究A」「工芸研究B」は、今年度は開講せず



繪畫領域



「絵画基礎実技Ⅰ」の授業作品例

絵画基礎実技Ⅰは絵画表現の基礎を学ぶ授業です。主に「デッサン」を学びます。

身近な静物から室内、自画像等多様なモチーフを観察を通して描き表します。



「絵画基礎実技Ⅱ」の授業作品例

この授業では主に油絵具・アクリル絵の具を用いて絵画表現の基礎を学びます。

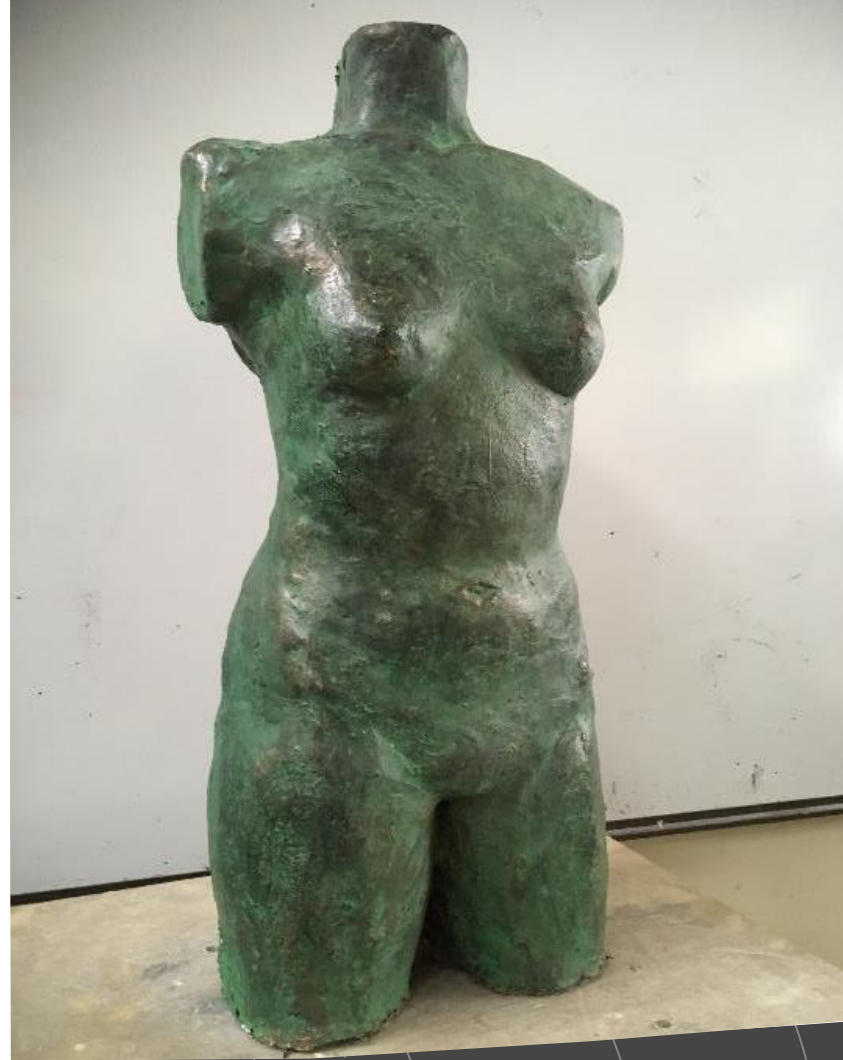


「絵画研究A」授業作品例

絵画表現の基礎から応用へ向かうための授業です。
学生が自分が表現したいテーマを見つけ出すために行います。



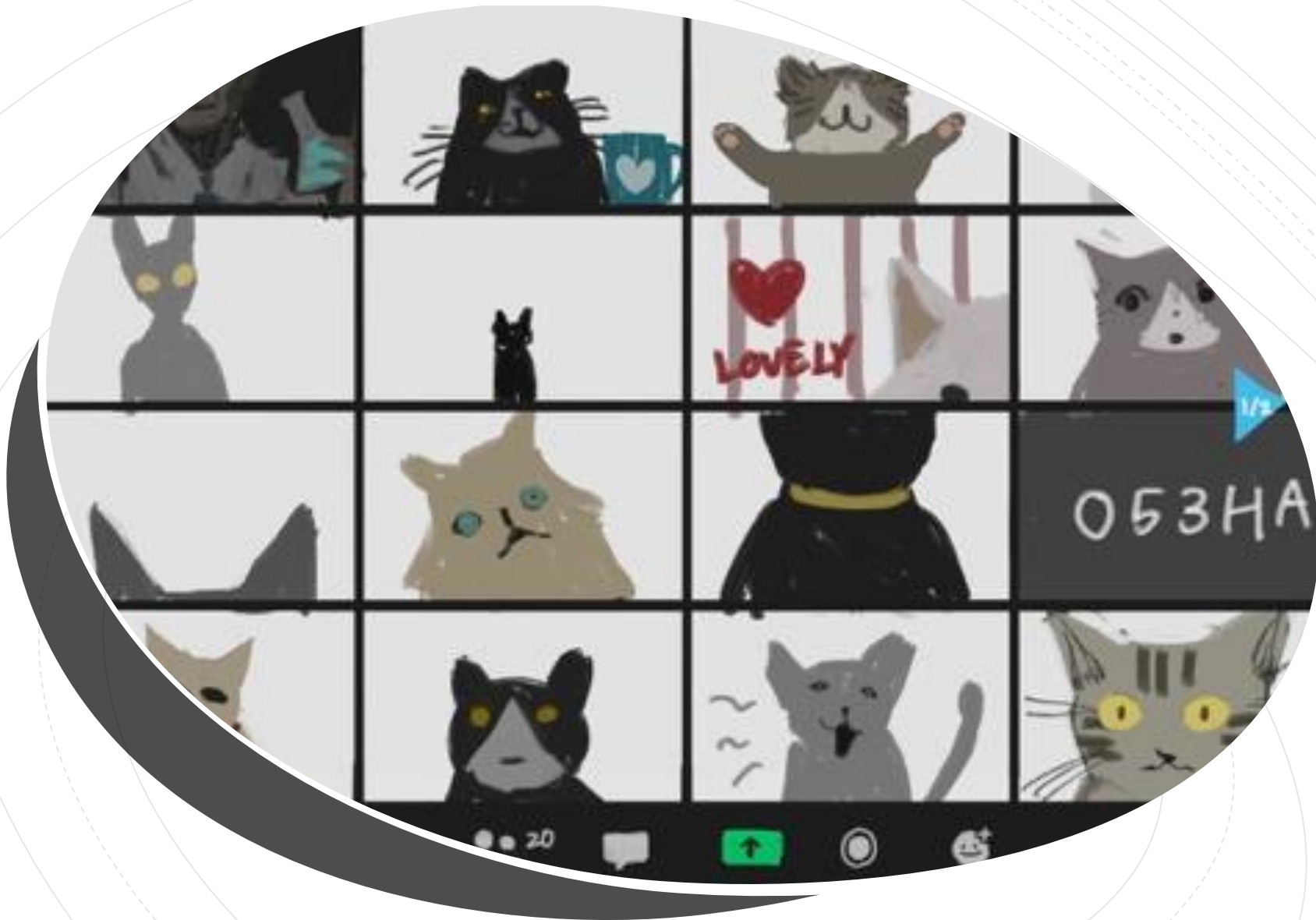
彫刻領域



「彫刻研究A」授業作品例

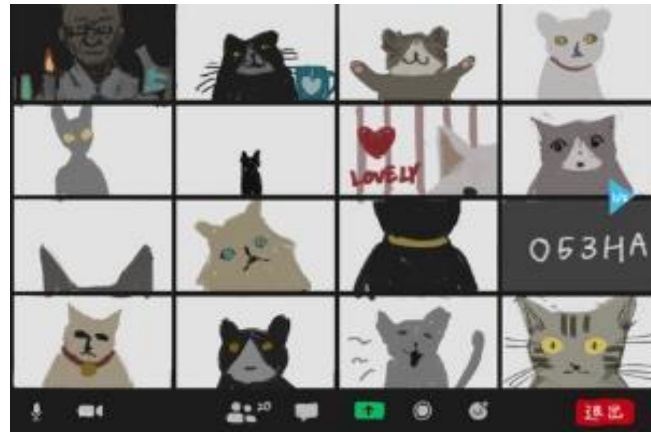


「彫刻研究B」授業作品例



デザイン領域

「デザイン基礎実技Ⅰ」授業作品例



笑顔のデザイン



チラシのデザイン



夏・ポスター

「デザイン基礎実技 I」 授業作品例



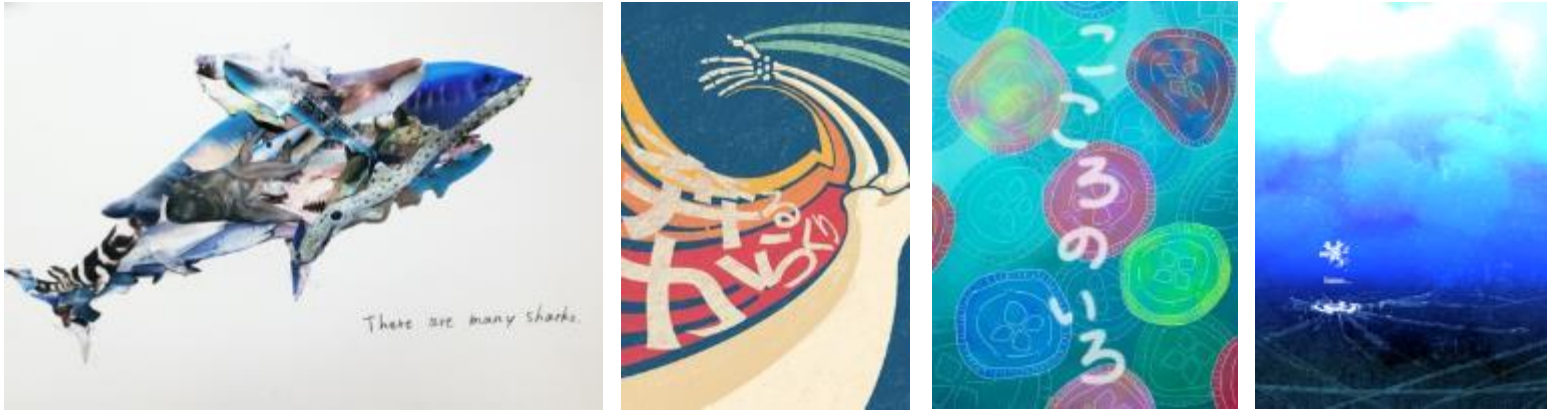
構造と形態



ガラスのパッケージ



「デザイン基礎実技Ⅱ」授業作品例



各自のテーマに基づくポスター

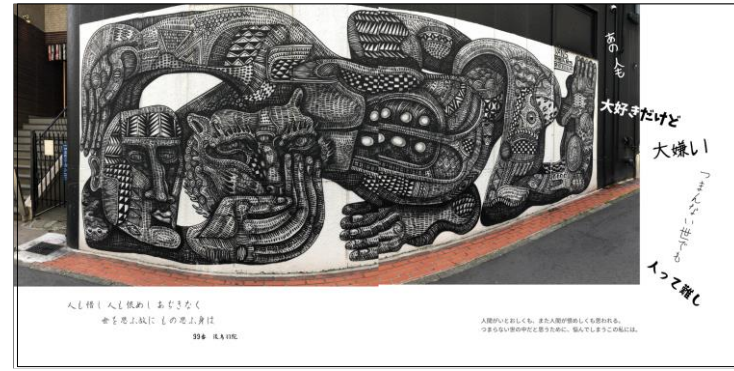
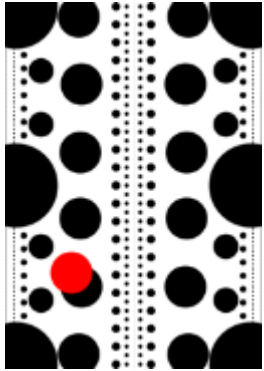


おもちゃのデザイン



「デザイン研究A」授業作品例

本のデザイン



家具のデザイン+展覧会



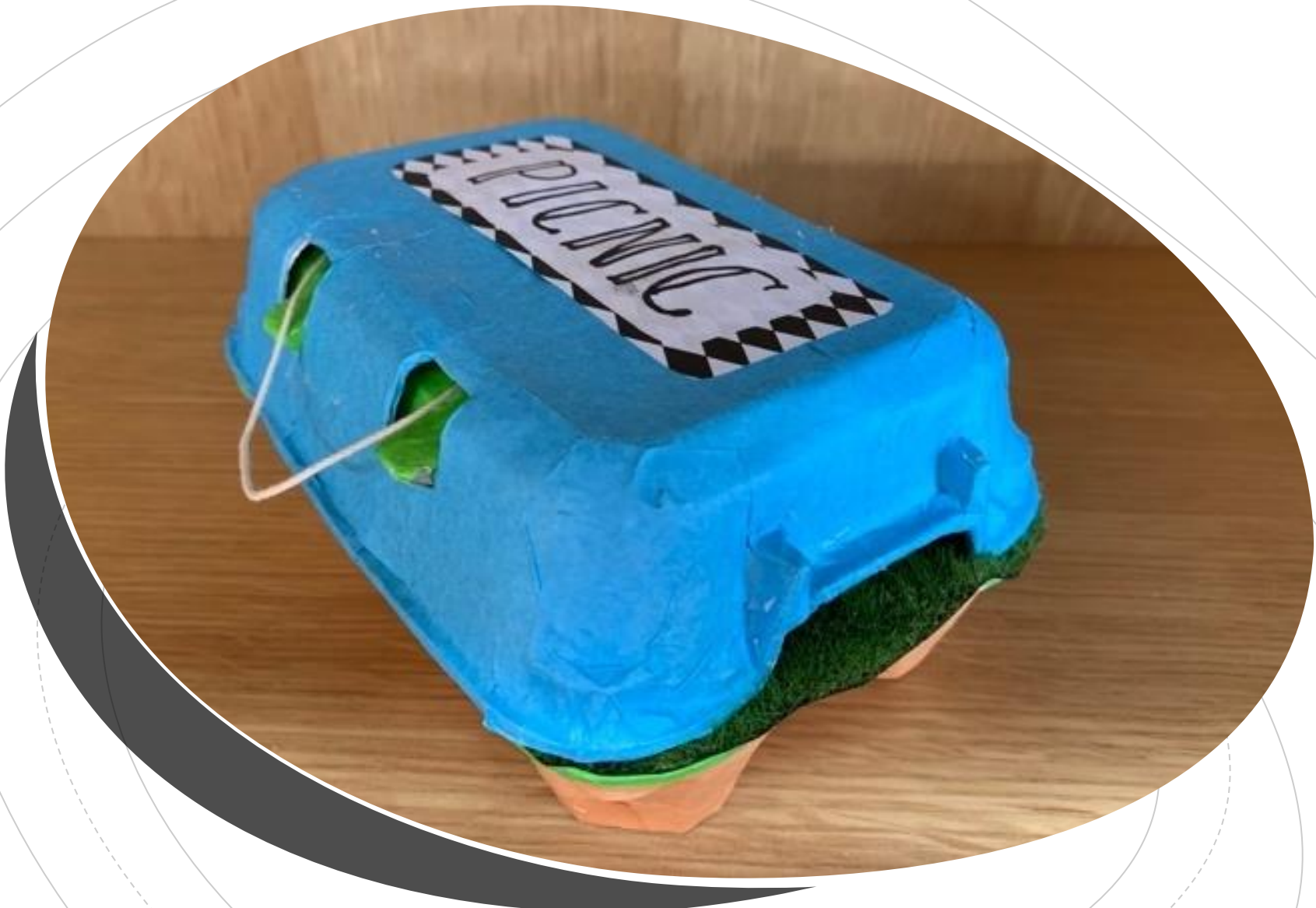


工藝領域



「工藝研究B」授業作品例

「工藝研究A」授業作品例



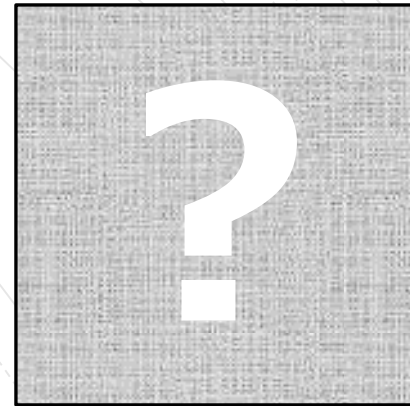
美術科教育

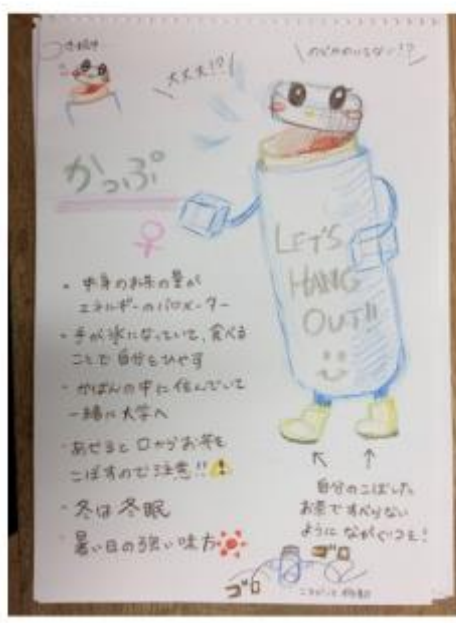
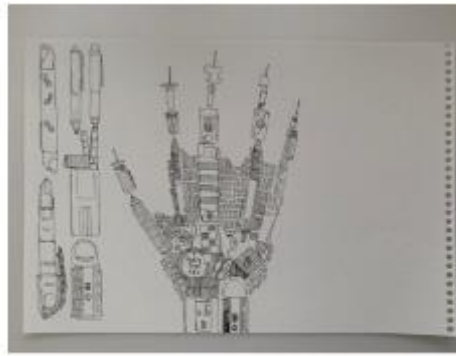
教育学部で行われる「〇〇科指導法」の授業は、いずれも、教員になった際、その科目を教えるために必要な内容及び方法を学ぶ授業です。従って「中等美術科指導法」の授業では、中学校及び高等学校の美術科を担当する教員となるために必要な指導内容及び授業方法について学びます。

ところで、皆さんはご存知でしょうか？ 美術科の授業で最も重視されている内容は何なのか？ それは「形、色、イメージ」です。そのため上記の授業では、学生さん自身が「形、色、イメージ」を理解すると共に、中学生や高校生がこれらを理解するのに適した教材を開発する力を付けることを目的に「形、色、イメージ」に関連する様々な内容と方法を学んでいます。

次のスライドに掲げるのは「中等美術科指導法」の授業風景・作品の画像です。

それぞれどのような課題の画像か、想像してみてください。







ミュージアム・コラボレーション

埼玉県立近代美術館

×

埼玉大学

ミュージアム・コラボレーションとは
埼玉県立近代美術館との連携授業です。

毎週 美術館のワークショップにスタッフとして参加させていただき、最後に学生が考えたプログラムを実施する内容となっています。



埼玉県立近代美術館での
活動の様子



卒業制作展



埼玉県立近代美術館での展示の様子



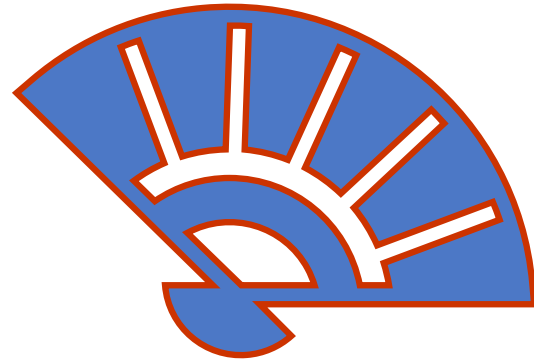
埼玉県立近代美術館での展示の様子



埼玉県立近代美術館での
展示の様子

進路

卒業後は、小,中,高等学校等の教員になることが一般的ですが、大学院へ進学する学生も多く、社会の様々な場所で活躍する人材を輩出しています。



最後まで御覧いただきありがとうございました。

教育学部 学校教育教員養成課程 芸術専修

図画工作分野・美術分野によるこそ

作成日 2024年7月24日 (水)

芸術専修 図画工作分野・美術分野